

第 6 学年〇組 学級活動指導案

平成 3 0 年〇月〇日 (〇) 第〇校時
授業者 八木原 実穂

1 議題 「6 年〇組だからできる卒業文集をつくろう」

2 児童の実態と議題選定の理由

本学級の児童は、明るく元気に学校生活を過ごしている。6 年生となり、最高学年ということ意識して活動を行うことも多く、一生懸命に取り組んでいる。また、学級内でも友達と協力して取り組む活動が増え、それぞれの頑張りを認め合える雰囲気が見られるようになってきている。(略)

学級会については、年度当初にオリエンテーションを行い、クラス全体で進め、共通理解を図ってきた。学級会についてのアンケートを行うと、「学級会を行っていくとクラスがよくなっていくと思うか。」という質問に対し、〇名の児童が「そう思う。」と答えた。また、学級会を楽しんでいる児童も多くいることが分かった。その一方で発言をすることが苦手な児童や「自信をもって発言しているか。」という質問に対して「自信がない。」と答えた児童も多かった。このような実態の中で、「クラス力 UP 作戦をしよう」「修学旅行のバスレクの内容を考えよう」等の議題で学級会を行ってきた。学級会の回数を重ねるごとに計画委員会の役割を輪番制で行い、少しずつ役割に対する理解を高めてきている。また、自分の意見を主張することだけを考えるのではなく、クラスのための発言も増えてきている。しかし、学級内の諸問題に気づき、解決へ向け、提案理由に迫る活動を練り上げていくことに課題がある。自分の意見に自信をもって発言することや自分の思いや考えと相手の思いや考えを関連させながら、意見をまとめることのできる児童を目指している。そのためにも、提案理由の提示の仕方を工夫し、めあてを意識した話し合いを進められるように指導を行っている。

本議題「6 年〇組だからできる卒業文集をつくろう」は、「読書集会をしよう」「クラスカルタをつくろう」という議題の中から、思いのつまった 6 年〇組だからこそできる卒業文集をクラス全員で協力して作り上げることで、もっとクラスがよくなると考える。この活動を通して、学級内の友情を更に深めるとともに、自分達の力でよりよい活動を行っていこうとする自主的実践的に取り組む児童を育てていきたい。

3 評価規準

集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
学級や学校生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

4 事前の活動

日時	活動の主体	児童の活動	指導上の留意点	(評価の観点) ◎ 目指す児童の姿 【評価方法】
○月○日 (○)	計画委員会 全員	・議題の選定をする。 ・選定結果を報告し、議題を決定する。	・議題選定の視点、提案理由の意義を理解して選定できるようにする。 ・計画委員会の提案のもとに全員で決定する。	(関心・意欲・態度) ◎よりよい学級生活にするために、進んで議題を選ぼうとしている。 【提案カード・観察】
○月○日 (○)	計画委員会	・提案理由を提案者と練り上げる。	・みんなが納得できる提案理由になるよう指導、助言する。 ・提案理由から分かりやすいキーワードを抽出する。	
○月○日 (○)	計画委員会	・活動計画を作成する。	・提案理由に沿っためあてが立てられるように助言する。 ・話合いの柱を決める際には、全員で議論すべきことを選ぶことができるように助言する。	(知識・理解) ◎計画委員会の役割や話合い活動の効率的な進め方を理解している。 【活動計画表・観察】
○月○日 (○)	全員	・学級会ノートに自分の考えを記入する。	・提案理由とめあてを確認してから自分の意見を書くようにする。	(関心・意欲・態度) ◎学級会の目的にあった内容を学級会ノートに書こうとしている。 【学級会ノート】
○月○日 (○)	計画委員会	・全員の学級会ノートに目を通す。 ・話合いの準備をする。	・出された意見を整理することで話合いの見通しをもてるようにする。 ・話合いが「比べ合う」から始められるように指導、助言する。 ・役割や仕事内容を確認し、意欲的に活動できるようにする。	(知識・理解) ◎話合い活動の準備の仕方を理解している。 【観察・発言】
○月○日 (○)	計画委員会 全員	・話合いの分担の確認をする。 ・学級会ノートで話合いの柱や自分の意見を確認する。	・自信をもって活動できるようにする。 ・学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、意欲を高める。	(思考・判断・実践) ◎よりよい意見を考え、判断し、自分の役割を考えながら進行している。 【観察・発言】

5 本時について

(1) 本時のねらい

- ・小学校生活を振り返り、6年〇組だからできる卒業文集の内容を考えることができる。
- ・友達の意見のよいところを認め、みんなが納得できるように合意形成を図ることができる。

(2) 児童の活動計画

議題	6年〇組だからできる卒業文集をつくろう		
提案理由 提 案 者 ()	この1年間、〇〇小学校の最高学年として学校のリーダーとなり、様々な行事を行い、学校生活を過ごしてきました。その思い出は私たちの宝物です。しかし、卒業するとずっとこのクラスで一緒にいられるわけではありません。だから小学校生活の思い出を卒業文集にのせ、いつでも振り返ることができ、これからの自分達を勇気づけられる内容にしたいと思いました。その思いのつまった6年〇組だからできる卒業文集をクラス全員で協力して作り上げることで、もっとクラスがよくなると思ったので提案しました。		
めあて	6年〇組だからできる卒業文集の内容を決めよう。		
決まっていること	内容は5つにしぼり、決定する。表紙は書くことに決める。役割分担は男女混合とする。 1 グループの人数を3～5人とする。クラスページ作成時間は、4時間とする。		
計画委員	司会 () () 黒板記録 () () ノート記録 ()		
話合いの進行	気をつけること	用意するもの	時間
1 はじめの言葉 2 歌 3 計画委員会の紹介 4 議題の確認 5 提案理由の確認 6 めあての確認 7 決まっていることの確認			10分
8 話し合うこと ① 6年組だからできる クラスページの内容 ② オリジナルの見て 楽しめる工夫 ③ 役割分担			10分 15分 5分
9 決まったことの発表 10 振り返り 11 先生の話 12 おわりの言葉			5分
準備の振り返り	1 進んで準備ができましたか。 ◎ ○ △ 2 協力して進めることができましたか。 ◎ ○ △ 3 自分の仕事がしっかりできましたか。 ◎ ○ △		

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	(評価の観点) ◎ 目指す児童の姿 【評価方法】
1 はじめの言葉 2 歌 3 計画委員会の紹介 4 議題の確認 5 提案理由の確認 6 めあての確認 7 決まっていることの確認 8 話し合うこと ① 6年〇組だからできるクラスページの内容 ② オリジナルの見て楽しめる工夫 ③ 役割分担 9 決まったことの発表 10 振り返り 11 先生の話 12 おわりの言葉	・明るい雰囲気話し合えるよう、笑顔で見守る。 ・自分の役割に対してめあてを発表し、はっきりと言えるようにする。 ・提案者の思いや願いを考え、学級全員が理解し、話合いの指針となるようにする。 ・提案理由を意識した話合いができるように助言する。 ・提案理由から話合いの方向性となるキーワード(言葉)を分かりやすく提示する。 ・教育課程に関わることに限っては教師が伝える。 ・話の方向がずれたとき等は助言し、提案理由やめあてを意識して進められるようにする。 ・提案理由を意識した発言や、理由が明確な意見、建設的な意見を称賛し、意図的に意識できるように助言する。 ・自分の考えと比べながら友達の意見を聞き、理由を明確にした発言をするなど意欲的な児童を称賛する。 ・話合いの柱から逸れることなく焦点化した話合いができるようにする。反対は賛成の否定ではないという認識で出来る限り出された意見のよいところを合わせてまとめていくようにする。 ・学級会の振り返りのポイントを示すようにする。 ・今回の学級会のよかったことや事後の活動と実践への意欲が高まる言葉がけをするとともに、今後の学級会の課題を明確にする。また、計画委員会の活動を称賛する。	(関心・意欲・態度) ◎意欲的に自分の意見を発表しようとしている。 ◎決まったことについて、協力して取り組もうとしている。 【発言・観察・学級会ノート】 (思考・判断・実践) ◎自分の考えと比べながら友達の発表を聞き、理由を明確にして自分の意見を述べ、協力して話合いを進めようとしている。 【発言・観察・学級会ノート】 (知識・理解) ◎話合いの進め方を理解している。 【観察】

6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	(評価の観点) ◎ 目指す児童の姿 【評価方法】
〇月〇日 (〇)	・役割分担を確認し、作業の見通しをもつ。	・全員で役割分担をし、一人ひとりが活躍できるようにする。 ・活動時間や必要な用具を十分に確保する。	(関心・意欲・態度) ◎協力して準備や計画に取り組もうとしている。【観察】
〇月〇日 (〇)	・決まったことを実践していく。	・全員が決まったことに対して活動できるようにする。 ・お互いのよさを知ることができるようにする。	(思考・判断・実践) ◎提案理由を考えながら活動している。 【観察・発言】
〇月下旬	・実践活動を振り返る。	・自分の活動を振り返り、今後に生かせるようにする。	(思考・判断・実践) ◎活動を振り返り、互いのよさを認め合おうとしている。【振り返りカード・発言】

実践報告

(1) 事前の活動

① 提案理由の練り上げ

選定・決定された議題の提案理由を提案者と計画委員会で練り上げ、なぜこの活動を行うのかを明確にした上で、学級会ノートを作成した。

この1年間、〇〇小学校の最高学年として学校のリーダーとなり、様々な行事を行い、学校生活を過ごしてきました。その思い出は私たちの宝物です。しかし、卒業するとずっとこのクラスで一緒にいられるわけではありません。だから、小学校生活の思い出を卒業文集にのせ、いつでも振り返ることができ、これからの自分達を勇気づけられる内容にしたいと思いました。その思いのつまった6年〇組だからできる卒業文集をクラス全員で協力して作り上げることで、もっとクラスがよくなると思ったので提案しました。

現状と課題

願いや思い

実践後のイメージ

② 卒業文集作成に向けた事前のイメージの共有化

初めての卒業文集となるので、卒業文集のクラスページがどんなものなのか、卒業生の文集を活用し、イメージの共有化を図った。廊下に掲示し、他クラスの児童へ波及していくよう工夫した。

(2) 本時の活動

① キーワードを意識し、意見の繋がりのある話し合い

<提案理由から大切にしたいこと>

- ・思い出を振り返ることができる。
- ・6年〇組らしさ

この二つを中心に話し合いを進めた。

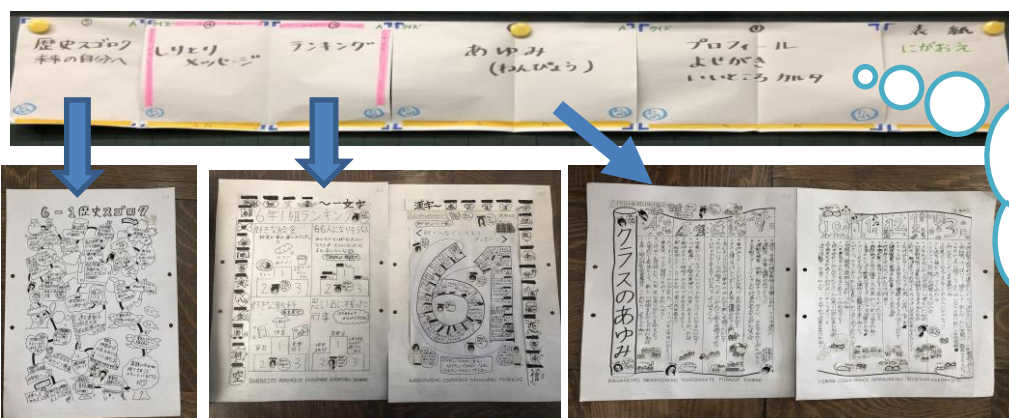
② 実践に向けた、イメージの共有化

授業の中で、イメージが伝わりにくい部分は実際に書くなどを行い、クラス全体に伝わるようにした。

(3) 事後の活動

① 自分たちで考えた文集の内容の実現化

話し合いで決まったことを略図にして実現可能かを確認した。



学級会の中で共有していったことを略図にすることにより、全体のイメージをつかむことができた。

② 実践と振り返り

グループごとに話し合った内容を実現するために工夫して進めることができた。なぜ、この話し合いをするのかを明確にすることで、イメージを共有することに繋がった。

